

山形県サイエンスフォーラム

「山形県サイエンスフォーラム」は、前年度よりスタートした山形県教育委員会「やまがたサイエンスコーチ育成プロジェクト」事業の一環として、理数教育や産業教育、探究型学習において科学研究に熱心に取り組んでいる学校の児童・生徒が、日頃の研究成果の発表を行い、今後の研究の質的向上と内容の深化を図ることを目的として実施される研究発表会です。今年度は12月17日（土）、山形国際交流プラザ山形ビッグウイングにおいて開催されました。前年度の第1回大会は高校生のみでの参加でしたが、今回は小中学生の研究発表もあり、「科学専門部の部」「サイエンスコーチ・一般の部」「理数科の部」の3つの部門に計105チームが参加しました。

会場には、チームごとに作成した研究成果を示すポスターが掲示され、チームによるポスターセッションが行われました。参加した児童・生徒は限られた時間で研究内容を発表し、続いて審査員や来場者との質疑応答を行いました。

山形西高からは、1年生2名、2年生3名が参加し、サイエンスコーチの教員の指導のもと、1年間かけて研究してきた成果を発表しました。

<研究テーマ>

パネル番号 33 【生物】 ワラジ目の光に対する反応について

パネル番号 35 【生物】 メキシコサンショウウオの性ホルモンの進化について

パネル番号 53 【数学】 音が人の学習に与える影響について

どのチームも、工夫を凝らした研究内容で、発表にも熱が入りました。質疑応答を繰り返すことにより、議論を深め、相互に刺激し合い、これからの活動や研究の質的向上と内容の深化に加え、今後の研究の方向性を探ることができました。

